

1月13日（木）お昼の放送での校長先生からの話

【ポイント】新型コロナウイルスが拡大する中で、私たちはできるだけお医者さんにかかることがないよう病気になる努力をしよう。

みなさん、給食をおいしく食べていますか？

今日は校長先生から新型コロナウイルスのことについて、福岡小学校のみなさんに付けてほしい力があるのでお話をします。

みなさんもニュースで知っている通り、今、全国的に新型コロナウイルスにかかる人が増えています。その中で、お医者さんや看護師さんの数が足りなくなっています。それは、お医者さんや看護師さんの家族が新型コロナウイルスにかかると、その家族全員濃厚接触者といって、仕事にいかないで家にいなければならないからです。特に沖縄県ではお医者さんや看護師さんがいなくて、病気になってもお医者さんにみてもらえないことになってしまうかもしれないと心配されています。このことは岐阜県や中津川市でもこれからおきる可能性は十分にあります。

そんな中で、私たちにはどんなことができるでしょうか？校長先生はできるだけお医者さんにかからないように努力することだと思います。もし、風邪をひいてしまってお医者さんにかからなければいけないようになった時に、お医者さんにみてもらえなかったらどうなるのでしょうか？風邪はさらに悪くなりますね。また、お医者さんが足りない中でお医者さんにみてもらえても、お医者さんをもっと忙しくさせることになって、もっと重い病気の人がみてもらえなくなるかもしれません。

だから、今、私たちはできるだけお医者さんにかからなくてもいいように気を付けて生活することが大切だと校長先生は思います。気を付けていても病気になってしまうことはありますが、できる限り努力をすることです。

そうやって考えると今日のみなさんの登校の様子を見て心配なことがあります。それは雪が降っているのに傘をささないで登校していることです。傘をさしていないので、髪の毛や服が濡れてしまっていました。その子たちはひょっとかしたら、風邪をひいてしまうかもしれないので心配しています。

また、雪が降っている中で休み時間に運動場で遊ぶ時も、服や帽子が濡れてしまう前にやめるなど、自分で判断して風邪をひかないように気を付けましょう。

ぜひ、福岡小学校のみなさんには、自分の命は自分で守る、普段から風邪などの病気にかからないように努力する力を付けてほしいと思います。